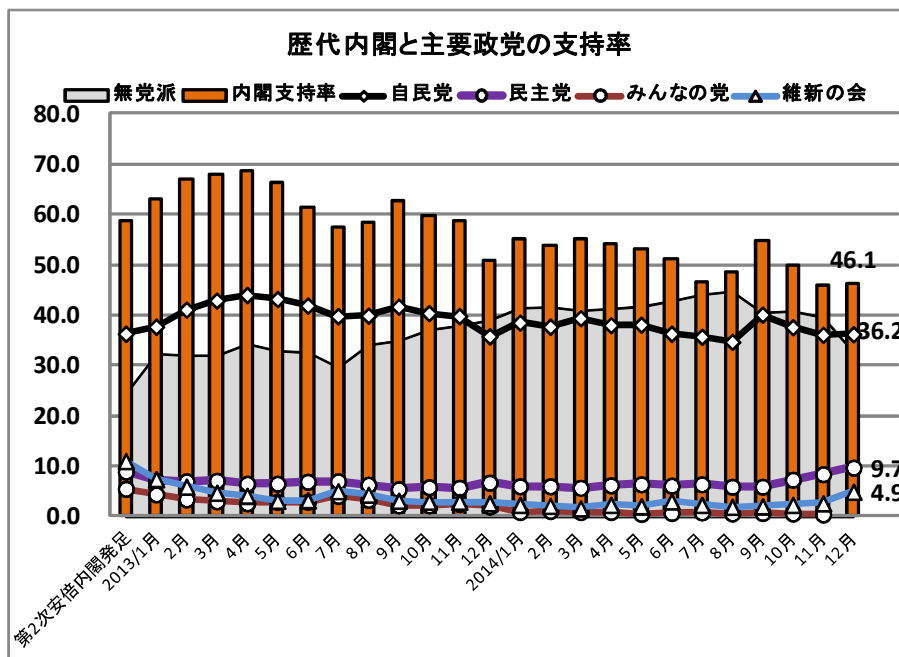


## 直近の世論調査から - 2014. 12. 25 (衆議院解散・総選挙は終わったが…)

第 47 回衆議院総選挙が終わった。24 日には第 3 次安倍内閣が発足した。今回は総選挙を挟んだ 12 月のマスコミの定例世論調査・選挙情勢調査から、データを中心に紹介する。

1. 総選挙を挟んでも内閣・自民支持率ともに変化なく。野党は若干アップ。  
63%は解散理由に否定的。投票率は(予定通り)戦後最低を更新して52.66%

①国政選挙が実施された月は、内閣の支持率や与野党の支持率も、選挙を前後して顕著な



変化を見せるものなのだが、12月の定例調査(今回は9社平均)では内閣支持率は46.1%(前月45.8%)、自民党の支持率も36.2%(同36.1%)と、全然変化がなかった。野党の支持率だけは、選挙を意識した若干の無党派層の参加で民主党が9.7%(前月8.4%)、維新4.9%(同2.6%)、共産4.8%(同3.3%)、公明4.6%(同

内閣支持率		※読売、朝日、共同、NNNは選挙後の調査									
12月	支持	不支持	自民	民主	公明	共産	社民	維新	生活	次世代	支持なし
日経											
毎日12.11	43	34	35	8	4	5	1	6	1	1	30
読売12.17	51	41	36	10	5	7	1	7	0	0	31
朝日12.18	43	34	35	7	4	4	1	4	0	0	33
共同12.17	46.9	45.3									
時事12.12	45.4	34.9	25.4	5.9	4.6	2.0	0.4	2.4	0.2	0.3	56.8
NHK12.8	47	38	38.1	11.7	5.9	4.3	0.9	3.7	0.3	0.1	26.3
JNN											
ANN12.8	44.0	36.6	44.2	14.9	4.0	6.7	1.5	3.4	0.8	0.4	23.7
FNN12.8	48	40	36.7	8.5	5.7	3.8	0.9	6.9	1.1	1.0	32.0
NNN12.21	46.6	37.5	39.2	11.4	3.7	5.7	1.3	6.1	0.4	0.6	29.5
平均	46.1	37.9	36.2	9.7	4.6	4.8	1.0	4.9	0.5	0.4	32.8

3.6%)、社民1.0%(同0.6%)と上昇した。

②今回の解散が、相当以前から計画されていたもので、“解散の大義”に乏しいことがマスコミを含めて声高に叫ばれていた。世論調査でも「安倍首相の」解散(理由)を肯定的に受け止めた人はわずか26.4%で、否定的な人は62.8%だった(4社平均)。このため今回の総

安倍首相の解散(理由)に			今回の衆議院選挙に対する関心の度合い				投票率の推測(全国) 前回比平均0.88		
	肯定的	否定的		大いにある	ある程度あり	あまりない	全然ない		
朝日11.21	25	65	朝日11.25	21	44	26	8	◎読売12.4報道 関心あり 69% 前回81% 前回比0.85	
共同11.20trend	30.5	63.1	NHK12.1	23	49	21	5	必ず行く 62% 前回68% 前回比0.91	
読売11.22	27	65	JNN12.1	25	45	23	7	◎日経12.5報道 関心あり 70% 前回81% 前回比0.86	
日経11.24	23	58	NHK12.8	26	46	21	3	◎朝日12.5報道 必ず行く67%、前回75% 前回比0.89	
平均	26.4	62.8	今回の衆議院選挙で投票に行くか						2012年投票率 59.32%
今回の衆議院選挙に対する関心				必ず行く	なるべく行く	たぶん行く	行かない		2014年投票率 52.66 前回比0.89
	関心ある	関心ない	読売11.22	60	32	5	3		(道内) 前回比平均0.90
読売11.22	65	35	毎日12.1	62	28	6	2	◎道新12.5報道 関心あり 68% 前回77% 前回比0.88	
FNN12.8	62.2	35.8	NHK12.1	55	31	8	5	必ず行く64%、前回70% 前回比0.91	
共同11.30trend	67.4		FNN12.8	66.2	23.9	5.7	4.0	2012年投票率 58.73%	
共同12.12trend	69.5		NHK12.8	61	28	7	3	2014年投票率 56.35% 前回比0.96	
			毎日12.11	67	24	3	3		

選挙に対する関心も従来になく低く、「投票に必ず行く」と答えた層も、55%から67%程度に留まり、投票率の低下が懸念された。マスコミの「投票意欲」の比較調査(右枠内)を参考に推測すれば、今回は前回比平均が0.88(少し機械的だが、投票率に換算すると52.2%)と予測された。最終盤には「与党大勝の兆し」と言った報道があったのだが、無党派層の投票意欲を余り刺激しなかったらしく、結果はほぼ予定通り(?)の52.66%と戦後最低を更新した。※本道は、道新調査をもとに機械的に推測すると前回比0.90(投票率52.85%)だったが56.35%と推測を上回ったのは、独自の激戦情勢を反映したものと考えられる。

## 2、「安定」を望んだ有権者…民主やや回復、共産倍増、第三極は沈没

③投票日前の「望ましい選挙結果は」に対する有権者の反応でも、「与野党伯仲」(勢力接近)を望むのが共同・FNNでほぼ5割。現状の「一強多弱」と言われる格差には戸惑いが

望ましい選挙結果は				衆議院選挙での与野党の議席					
	与党>野党	与野党伯仲	与野党逆転		与党議席増	野党議席増	今と変わらない		
共同12.12trend	34.9	47.2	8.7	朝日11.25	18	36	31		
FNN12.8	35.4	47.9	9.7	衆議院選挙の期待する結果は					
与党過半数維持について					自公連立	自民単独	野党中心		
	肯定的	否定的		日経11.24	34	20	18		
NHK12.8	51	41							
毎日12.11	51	39							
衆院選での比例代表の投票は									
	自民	民主	公明	共産	社民	維新	生活	次世代	NA
NNN11.16	39.5	12.2	4.9	5.8	0.9	4.5	0.2	0.4	26.7
朝日12.1	34	13	7	8	2	8	1	1	14
共同12.12trend	28.0	11.8	6.1	6.0	0.9	6.1	0.9	2.0	32.5
読売11.22	41	14	6	3	0	5	0	0	28
日経11.24	35	9	3	4	1	3	1	0	30
ANN12.8	34.1	12.6	5.8	6.6	1.5	5.3	1.5	1.1	29.2
FNN12.8	37.5	13.2	8.2	5.2	1.4	10.7	1.9	1.5	14.5
毎日12.11	35	11	6	7	1	10	1	1	14
JNN12.1	29	12	5	4	1	5	0	0	34
平均	34.8	12.1	5.8	5.5	1.1	6.4	0.8	0.8	24.8
比例得票結果	33.1	18.3	13.7	11.4	2.5	15.7	1.9	2.7	
前回	27.6	16.0	11.8	6.1	2.4	20.4	未来5.7	みんな8.7	

見られるものの、しかし「与党の過半数維持」はNHK・毎日の51%で、政治の不安定化は嫌っている。総じて、与党にも、野党にも、とくにどちらの側の議席が増えることは望

んでいないというような、複雑な有権者の安定志向が出ているようだ(朝日、日経)。

選挙結果は、ご承知のように、前回衆院選挙で負け過ぎだった民主がやや回復し、自民党に対する反対極の共産が倍増(沖縄では反自民全勝)、第三極は沈没した。

### 3. 有権者は「この道」を選ぶしかなかった？

④安倍自民党は「この道しかない」と訴え、民主党などは「この道」の危うさを訴えた選挙だったが、有権者には「この道を選ぶしかなかった」様子がうかがえる。安倍首相の経済政策に対する評価は徐々に低下してきて、今回はむしろ「評価しない」の方が多いし、アベノミクスも「成功している」とは思われていない(NHK、FNN)。景気が回復しているという実感も乏しく、この2年間で暮らし向きが良くなったわけでもない(FNN、毎日、朝日)。それでも、「回復過程にある」という政府の主張を“ひたすら信じ続ける”しかないというのが有権者の気持ちだったようだ。消費税問題でも、とりあえず「1年半の先送

安倍首相の経済政策を評価するか			アベノミクスで景気が良くなったと			与党合意(消費税10%と軽減税率導入)に		
	評価する	評価しない		思う	思わない		評価する	評価しない
NHK12.8	48	55	毎日12.1	23	70	毎日12.1	70	23
アベノミクスは成功していると			毎日12.11	21	70	毎日12.11	60	30
			この2年間の経済政策は			消費税増税の1年半先送り		
FNN12.8	27.5	57.3		成功だった	失敗だった		賛成	反対
景気の回復感			朝日11.21	30	39	共同11.20tre	65.4	28.4
	感じる	感じない	朝日12.1	37	30	読売11.22	59	35
FNN12.8	17.2	78.7	朝日12.18	41	28	日経11.24	51	36
この2年で暮らし向きは						毎日12.1	62	33
	良くなった	悪くなった	変わらない			FNN12.8	58.4	37.9
毎日12.1	5	21	71			平均	59.2	34.1
			首相表明の消費税は2017年4月確実に			消費税を2017年4月10%引き上げに		
				評価する	評価しない		賛成	反対
			朝日11.21	33	49	朝日11.21	39	49
						毎日12.1	49	51

り」には6割近くの方が賛成しているが、先送り後の10%への消費税再値上げには、反対する人の方がやや多いというのが調査の傾向だった。

⑤選挙後の結果に対する調査を見てみても、自民党または与党の圧勝という結果に対して

自民党291議席を獲得			与党2/3超の選挙結果は				
	良かった	良くなかった		良かった	良くなかった	どちらとも	
NNN12.21	51.3	33.8	共同12.17	27.4	27.1	45.2	
自公与党圧勝の選挙結果は			与党2/3超の選挙結果は				
	良かった	良くなかった		多すぎる	少なすぎる	ちょうど良い	
読売12.17	38	46	朝日12.18	59	5	21	
			自民党の議席はもっと…				
				多い方が良い	少ない方が良い	ちょうど良い	
読売12.17			読売12.17	7	55	32	
今後の安倍首相の政策に期待、不安			民主党の議席はもっと…				
	期待大きい	不安大きい					
朝日12.18	31	52		多い方が良い	少ない方が良い	ちょうど良い	
自民党に対抗する野党が必要か			読売12.17	45	12	37	
	必要だ	そう思わない	NNN12.21	30.3	12.3	46.7	
読売12.17	82	13	維新41議席の結果は…				
今の野党に政権を任せられる政党は				もっと勝った方	もっと負けた方	ちょうど良い	
	ある	ない	NNN12.21	29.4	15.4	43.9	
朝日12.18	8	78	今後の民主党に期待すること				
維新・第三極は伸びなかったが				政権に協力	政権をチェッ	再政権担当	何も期待せず
	良かった	良くなかった	NNN12.21	8.3	37.6	17.2	29.4
読売12.18	26	62					

は、複雑な反応を見せている。

まず自民党の291議席には素直に「良かった」(NNN 51.3%)と反応しているが、反対に「もっと少ない方が良かった」(読売 55%)という反応も出ている。また公明党も入れた与党2/3超議席獲得ということには、「良かった」「良くなかった」の反応が相半ばして(読売、共同)、「多

すぎる」という反応もある(朝日 59%)。

民主党の獲得議席に対しては「もっと多い方が良い」と「ちょうど良い」とに分かれ、「もっと少ない方が良い」「もっと負けた方が良い」という拒絶的反応は少なくなったようだ(読売、NNN)。今後の民主党に対しても「政権チェック」の役割を期待するのが(NNN 37.6%)あるが、「何も期待しない」も29.4%と、未だ多い。

維新・第三極に対しては、「伸びなかったのは良くなかった」(読売 62%)が多いが、維新の41議席は「ちょうど良い」(NNN 43.9%)が「もっと勝った方が良い」(同 29.4%)を上回っている。

### 3. 出口調査から見る無党派層の動向—本道・大地との選挙協力も順調に

⑥巨大与党ブロック(自民・公明)に対抗するためには、野党も新しい政治ブロックを形成するか、野党再編で大きな政党化を目指すしかないのだが、その際には、現在の無党派層が、その動向などに共感することが必要だ。今回までの衆院選時における無党派層の選択を出口調査から見てみると、2009年政権交代選挙では民主への比例投票が52%(読売)にも達していたが、前回衆院選時には維新23~28%>自民20%>民主13~16%>みんな14%の順だったものが、今回は民主は19~21%で、自民21~22%、維新22~24%と三者がほぼ同列

無党派層はどこに比例投票		出口調査(全国)							
	自民	民主	公明	共産	社民	維新	みんな	未来	
共同2014年衆	21.1	20.8	7.4	17.7	3.2	21.7			
読売2014年衆	22	19				24			
朝日2014年衆	22	20	7	16	3	22			
共同2012年衆	19.9	16.4	5.9	7.5	3.0	23.0	14.2	8.3	
読売2012年衆	20	13				28			
読売2009年衆	16	52							
無党派層はどこに比例投票		出口調査(道内)							
	自民	民主	公明	共産	社民	維新	みんな	大地	未来
朝日2014年衆	18	26	6	14	2	15			
道新2014年衆	18.7	27.0	6.4	16.0	2.0	15.7			
道新2012年衆	19.9	12.9	4.7	6.8	1.9	19.1	9.4	19.1	
道新2009年衆	14.6	46.0	5.4	8.9	5.9			17.1	
道新2005年衆	21.4	39.5	5.9	8.7	6.0			18.6	
道新2013年参	20.4	13.6	6.6	13.6		8.4	12.0	18.6	4.3
大地支持者はどこに比例投票		出口調査(道内)							
道新2014年衆	16.0	64.2	1.9	11.6		4.4			
道新2013年参	6.4	2.4	2.9	1.9		1.6	0.8		

に並ぶまでに回復した(共産も16~18%)。

北海道の場合は、民主26~27%、自民18~19%で前回衆院選時から逆転した。維新もまだ15~16%、共産は今回は14~16%を占めている。更に大地との選挙協力も、大地支持者の64%が民主党への比例投票に参加しているように順調だったようだ。

☆北海道世論調査会のホームページに、今時衆院選の独自調査の結果まとめと、これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果・世論調査データ、論評などを掲載しています。ご覧ください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)